

攻めのIT経営中小企業百選 (おかやまIT経営力大賞共通)

応募用紙 C(実践内容)記載の留意点

“応募用紙C（実践内容）”は、経営貢献のためのIT活用への取組みについて、ありのままを自由に書いていただくものです。但し、審査員に取組み内容が的確に伝わるようにするため、以下についてご留意願います。

1. 応募用紙の大項目の構成に合わせて記載願います。

応募用紙の大項目構成と、それぞれの記載内容として意図するところは次の通りです。

1) 全般 ⇒貴社のビジネスの特徴や強み、優れている点等について。

2) 大項目Ⅰ. 認識すべき経営の状況と達成目標について

⇒IT経営に取り組む時点で、どんなことを問題と捉え、何を達成目標としたか。

3) 大項目Ⅱ. 達成目標を実現するための方策

⇒達成目標を実現するため、IT活用やIT以外も含め、どんな方策に取り組んだか。

4) 大項目Ⅲ. 攻めのIT経営推進の取組

⇒IT活用に取り組む上で、誰が、どんな役割を担い、実践したか。

5) 大項目Ⅳ. 攻めのIT経営実践の成果について

⇒IT活用への取組みにより、現在に至るまでにどんな成果が得られたか。

大項目Ⅰ. からⅣ. まだが、ひとつのストーリーになるよう意識して、わかり易く記載してください。

2. 応募用紙A「攻めのIT経営中小企業評価指標」の判断根拠を記載願います。

応募用紙A「攻めのIT経営中小企業評価指標」は「攻めのIT経営中小企業百選」の審査の視点に対応しています。また、応募用紙Cの大項目とも対応しています。各「指標」や質問項目の判定根拠となる事柄を、応募用紙Cの該当する項目に、具体的にわかり易く記載してください。

応募用紙A大項目Ⅰ. の判定根拠⇒ 応募用紙C大項目Ⅰ. で記載・補足

応募用紙A大項目Ⅱ. の判定根拠⇒ 応募用紙C大項目Ⅱ. で記載・補足

応募用紙A大項目Ⅲ. の判定根拠⇒ 応募用紙C大項目Ⅲ. で記載・補足

応募用紙A大項目Ⅳ. の判定根拠⇒ 応募用紙C大項目Ⅳ. で記載・補足

3. 応募書類提出前に、以下の点から、再確認をお願いします。

1) 記述される文章の量や文章の内容は、伝えたいことを十分表しているか。

2) 文章の内容は、事業的な気付きから成果実現までの経緯を、ストーリーとして表しているか。

3) 目標実現のためのIT活用を含む方策や取組みは、十分実施定着していることを表しているか。

4) IT活用を含む取組みの内容として、自社独自の工夫を明示しているか。例えば、自社専用システムの構築や独創的な業務運用、汎用的ソフト活用における自社独自の工夫など。

5) IT活用が寄与した事業的な成果（売上高、利益）を明示しているか。

※次頁以降に、項目ごとに記載する上での留意点をまとめましたので、ご確認ください。

【記載の留意点】

| | | |
|----------|------|-------|
| 会社名・組織名: | 受付番号 | T0000 |
|----------|------|-------|

| | |
|----------|--|
| 全般 | 1. 貴社のビジネスの特徴や強み、あるいは同業他社と比べて優れている点を記載してください。 |
| | <p>『全般』には、現時点での事業の特徴を記載してください。 同業他社と比べて優れている点や、他社にない固有のビジネスモデルや、経営におけるこだわりがあれば、その点についても記載してください。 事業を理解する上で必要であれば、現在に至る経緯(沿革)等を書いてください。 サービス系の事業においては、誰(対象とする顧客)にどんなサービスを提供しているのかを、明示的に書いてください。</p> |
| 取り組み開始時期 | 今回の応募における成果につながる取り組みの開始時期を記載してください。 平成()年 (概ね5年以内の取り組みとしてください) |

『大項目Ⅰ. 認識すべき経営の状況と達成目標について』では、攻めのIT経営への取組み時点での状況認識と達成すべきと考えた目標について記載してください。以下、項目1. 2. は、それぞれ該当するものを選択し、これらをヒントにして、項目3. に、自由記載してください。

| | |
|------------------------|---|
| Ⅰ. 認識すべき経営の状況と達成目標について | 1. 攻めのIT経営に取り組んだ時点での、市場や顧客動向、競合他社の動向など企業を取り巻く環境の状況《外部環境①-⑫》、および社内で解決すべき問題の状況《内部問題 a-j》についての認識として、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| | <p>() ①需要の急変や低迷・縮小 () ②取引条件変更の要請 () ③輸入品・外資を含む市場競争激化 () ④短納期の要請 () ⑤低価格化の要請 () ⑥高品質の要請 () ⑦顧客嗜好の変化・多様化 () ⑧原材料価格、仕入原価等の上昇 () ⑨グローバル化の進展・拡大 () ⑩業界の技術変化 () ⑪法制度等の変更 () ⑫その他の外部環境()</p> <p>() a. 売上・利益の減少 () b. 固定費・コスト問題 () c. 品質問題 () d. 業務スピード・業務効率化問題 () e. 従業員の意識低下 () f. 人材の高齢化・退職対策 () g. 人材育成と技術力・競争力対策 () h. コミュニケーションの不足 () i. 業務の見える化・企業統制の不備 () j. その他の内部問題()</p> |
| | 2. 上記の状況認識を踏まえて、取り組み開始時点で達成すべきと考えた目標《達成目標》について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| | <p>() ①自立した経営(下請け脱出) () ②自社製品・自社ブランド () ③強い商品・サービス確立 () ④事業連携による強い競争力 () ⑤売上・利益拡大 () ⑥新規分野進出 () ⑦グローバル化対応 () ⑧既存事業顧客の維持拡大 () ⑨新規顧客の獲得 () ⑩業務の見える化管理水準向上 () ⑪人材育成と技術力・競争力向上 () ⑫従業員の意識向上 () ⑬その他の達成目標()</p> |
| | 3. 上記項目1. の現状認識をもとに、項目2. の達成目標を決定し取組んだ経緯を、それぞれ該当する項目の内容も含めて、具体的に記載してください。 |
| | <p>《自由記載》 IT経営に取り組んだ時点(過去)で認識していた、貴社を取り巻く外部環境や貴社内で解決すべき問題(内部問題)、および、それを踏まえて掲げた達成目標を具体的に記載し、IT経営に取り組んだ経緯と目標を紹介してください。</p> <p>加えて、応募用紙A「攻めのIT経営中小企業評価指標」大項目Ⅰ. 攻めのIT経営課題に基づく経営計画等」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事柄を、補足として記載してください。(経営計画策定における事実把握の内容。経営計画の文書化や共有の状況など。)</p> |

【記載の留意点】

『大項目Ⅱ. 達成目標を実現するための方策』では、『大項目Ⅰ.』で掲げた達成すべき目標に対して、これを実現するために取組んだ方策について記載してください。以下、項目1. 2. は、それぞれ該当するものを選択し、これらをヒントにして、項目3. に、自由記載してください。

| Ⅱ. 達成目標を実現するための方策 | 1. 攻めのIT経営実践の対象となった業務について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 | | | | | | |
|---|--|--|-----------------------------|--|--|--|--|
| | () ①企画 () ④購買・調達 () ⑦営業・販売 () ⑩その他() | () ②広報 () ⑤生産・製造 () ⑧請求・支払・会計処理 () ③開発・設計 () ⑥物流・在庫管理 () ⑨総務・人事 | | | | | |
| | 2. 達成目標を実現するために活用した方策について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 | | | | | | |
| | () ①販売管理、生産管理等業務用アプリケーション・パッケージの活用 () ②ERP 等統合型業務用アプリケーションの活用 () ③財務・会計・人事・給与等経営管理用システムの活用 () ④自社専用業務システムの開発・活用 () ⑤ASP/SaaS/クラウド等の外部サービスの活用 () ⑥データ分析・情報分析ツールの活用 () ⑦表計算ソフト等汎用ソフトの活用 () ⑧EDI等社外との商取引や業務情報連携のシステムの活用 () ⑨メールや遠隔地アクセスのためのインターネット通信サービスの活用 () ⑩ホームページ(web サイト)、SNS等社外向け情報発信ツールの活用 () ⑪ケイタイ、スマホ、タブレット等スマートデバイスの活用 () ⑫社内LANおよびサーバー等ファイル共有システムの活用 () ⑬社内ネットワークやグループウェアなどのコミュニケーションシステムの活用 () ⑭IC タグ、3D、ARなどのIT関連新技術の活用 () ⑮情報セキュリティ関連システムの活用 () ⑯その他 IT 活用以外も含めた方策() | | | | | | |
| | 3. 上記2. で選択した方策のうち、達成目標実現と関連の強かった項目(最大3項目)について、それぞれ具体的な活用内容を記載してください。(※IT 活用以外に取り組んだ方策も併せて記載してください。) | | | | | | |
| 主要項目: (具体的内容) <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>《自由記載》</p> <p>達成目標を実現するための方策として、目標の詳細化も含めて、目標実現と方策の関係を具体的に記載してください。特に、前述の大項目Ⅰ. で取り上げた「達成目標」と方策の関係、および最終大項目Ⅳ. の「成果」との関連が読み取れるように記載してください。</p> <p>加えて、応募用紙 A「項目Ⅱ. 攻めのIT活用・投資の実施状況」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事柄を、記載内容に含めて、または補足として記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活動のベースとなる IT 利活用について(セキュリティ等を含む) ・経営判断支援を目的とした IT 利活用について ・顧客獲得を目的とした IT 利活用について ・競争力強化をねらいとした IT 利活用について </div> | | | | | | | |
| 4. 上記2. で選択した方策において、IT ベンダまたは市販のアプリケーション等を利用した場合は、その企業名と委託業務、利用したサービス又は商品名を記載してください。 | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="width: 50%;">IT ベンダ(企業名)</th> <th style="width: 50%;">委託業務・サービス内容又は商品名(パッケージソフト名)</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> | | IT ベンダ(企業名) | 委託業務・サービス内容又は商品名(パッケージソフト名) | | | | |
| IT ベンダ(企業名) | 委託業務・サービス内容又は商品名(パッケージソフト名) | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

項目4. は、活用したIT製品の具体的な情報を記載してください。

【記載の留意点】

『大項目Ⅲ. 攻めのIT経営推進の取組』では、『大項目Ⅰ.』で掲げた達成すべき目標を実現するための、推進体制や役割分担、およびそれぞれの取組みの状況について記載してください。以下、項目1. 2. 3. 4. 6. は該当するものを選択し、項目5. 7. は自由記載です。

| | |
|--|--|
| Ⅲ. 攻めのIT経営推進の取組 | 1. 攻めのIT経営を進める上で、経営者はどのように関わり、どのような役割を担いましたか。該当する項目に○印を記入してください。《経営者の役割》 |
| | () ①自ら方針を決め、自ら先導した () ②自ら方針を決め、実施はキーマンに委ねた () ③キーマンの提案を承認し、キーマンに実施を委ねた () ④その他() |
| | 2. 攻めのIT経営の推進に大きく貢献した社内人材(キーマン)は、どのような役職ですか。また、どのような役割を担ったか、該当する項目に○印を記入してください。《キーマンの役割》 |
| | () ①経営者の指示の元に、攻めのIT経営を推進した () ②経営者と常に連携しながら、攻めのIT経営を推進した () ③経営者に成代わって、攻めのIT経営を推進した () ④その他() |
| | 3. 攻めのIT経営を実践する際に利用した外部人材等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《外部人材》 |
| | () ①ITコーディネータ () ②中小企業診断士 () ③ITベンダ () ④行政機関 () ⑤中小企業支援機関(商工団体等) () ⑥その他の外部人材 |
| | 4. 攻めのIT経営を実践する際に利用した支援施策等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《支援施策等》 |
| | ＜国・自治体等公的機関の支援施策＞ () ①攻めのIT経営支援団体(ITコーディネータ協会や商工団体等を含む)のIT利活用研修・セミナー () ②商工団体等の支援機関の窓口相談 () ③専門家派遣 () ④ITベンダとのマッチング交流会 () ⑤公的機関Webサイト(IT経営ポータルのHP等) () ⑥政府系金融機関の低利融資 () ⑦税制(中小企業投資促進税制等) () ⑧地方自治体のIT化支援(具体名称:) () ⑨その他() |
| | ＜民間機関等の活用＞ () ⑩民間企業主催のIT研修 () ⑪民間コンサルタントに対する相談 () ⑫民間金融機関の融資 () ⑬その他() () ⑭特にどちらの施策も利用しなかった(自己資金、社内人材等で対応) |
| | 5. 上記3. および4. で選択した外部人材または支援施策等のうち、攻めのIT経営の推進に最も貢献した項目を1つ選び、その貢献内容について記載してください。 |
| 最も貢献のあった外部人材: 最も貢献のあった支援施策: (貢献の内容) | |
| 6. 攻めのIT経営を推進した成果が実現(実感)できた背景やその要因について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 | |
| () ①経営者の問題意識や強い思い () ②経営課題や目的・目標の明確化 () ③推進キーマンの主体的・広範囲な活動 () ④事業や業務プロセスの整備を伴う推進 () ⑤スピードや期日を意識した計画的な推進 () ⑥経営者と社員との一体化した推進 () ⑦攻めのIT経営推進過程でのリスク評価と対応の的確さ () ⑧人材の育成や評価とリンクした推進 () ⑨社外専門家を有効に活用できた () ⑩支援制度を有効に活用できた () ⑪その他() | |
| 7. 上記6. で選択した要因のうち、最も影響の大きかった項目1つについて、具体的に記載してください。 | |
| 最も影響の大きかった項目: () (具) 《自由記載》 項目7. は、項目6. で選択したものについて、具体的に記載してください。 加えて、応募用紙A「Ⅲ. 攻めのIT活用・投資の取組に関わる社内体制及び人材」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事柄を含めて、または補足として記載してください。 ・経営トップ方針と全社一丸での推進について ・的確な役割分担と推進運営について ・社内の人材活用について ・外部人材や支援施策制度の活用について | |

【記載の留意点】

『大項目Ⅳ. 攻めのIT経営実践の成果について』では、『大項目Ⅰ.』で掲げた達成すべき目標について、どこまでの成果が実現できたかを記載してください。
以下、項目1. 2. は、該当するものを選択し、これらをもとに、項目3. 4. に自由記載してください。

| | | |
|--|--|--|
| Ⅳ 攻めのIT経営実践の成果について | 1. 攻めのIT経営を実践した成果について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 | |
| | () ①売上・増大、利益の確保 () ③強みや特徴の確立 () ⑤顧客満足度向上、既存顧客拡大 () ⑦他社との協業等による事業拡大 () ⑨経営数値に基づく経営判断 () ⑪リードタイム短縮（期間短縮） () ⑬人件費、賃借料等の固定費削減 () ⑮社内（社員間）の情報共有 () ⑰技能の継承や技術者の育成・社員の意識向上 () ⑲コンプライアンスや内部統制の厳格化 | () ②商品・サービスの付加価値の向上 () ④知名度、ブランド力向上 () ⑥市場開拓・販路拡大、新規顧客拡大 () ⑧新規事業、新しいビジネスモデルの創出 () ⑩迅速な意思決定・経営判断 () ⑫品質改善 () ⑭原材料、外注、商品仕入等の変動費削減 () ⑯社外との情報交換 () ⑱人材の確保や正しい評価等 () ⑳その他() |
| | 2. 上記1. で選択した成果のうち、主要な項目を最大3項目選んでください。 | |
| | 3. 上記2. で選択した主要な項目について、それぞれの成果内容を、開始時点（概ね5年以内）と現時点との違いが、定量的に分かるように記載してください。 | |
| | （定量的成果の内容）（“①売上・増大、利益の確保”の成果とその実現経緯については、必ず記載してください。） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>《自由記載》 IT 経営に取り組んだ時点から、成果が得られた現時点までの概ね5年間での比較で、項目3. 定量的成果、項目4. 定性的成果をそれぞれ記載してください。</p> <p>加えて、応募用紙 A「Ⅳ. 攻めのIT投資の効果及び事後評価の状況」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事項を含めて、または補足として記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画で目標とした売上・利益についての定量的成果について ・既存事業分野について実現目標とした取り組みテーマについての定量的成果について（例えば、顧客数、取扱数、売上比率変化等） ・新規分野への進出について実現目標とした取り組みテーマについての定量的成果について ・経営計画で期待した定性的な成果や従来からの変化の面での成果について </div> | |
| 4. 上記3. と同様、開始時点と現時点を比較した定性的な成果を、具体的に記載してください。 | | |
| （定性的成果の内容） | | |

【注意事項】

応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

【1. IT 活用概念図】※業務フロー、システム概念図等、事業全体と取組対象業務やシステム全体と応募事例でのIT活用の関係がわかる図を添付してください。（空白ページに貼り付けてください。最大5頁の制限を超えても構いません）

【2. 組織図】※組織図(概略図)があれば添付してください。（空白ページに貼り付けてください。最大5頁の制限を超えても構いません）